

令和8年度(2026年度)

京田辺市の当初予算編成に関する要望書を 上村市長に提出！

京田辺市では、「持続可能な行財政運営」が最重要課題となっています。本市の人口は令和13年まで増加し続ける予測がされていますが、将来の人口動向分析を踏まえた総合戦略が必要になってまいります。社会経済情勢が著しく変化する中で、市民ニーズを十分に把握し的確な判断に基づいた市政運営が不可欠です。

自民一新会は、市長に対して政策提言を行い、その実現に向けてこれからも頑張っていきます。



令和8年度 (2026年度) の 重点的政策提言



- 1 木津川内水排除対策
- 2 耐震対策、長寿命化
- 3 交通安全、防犯対策
- 4 天理山古墳群史跡広場整備
- 5 脱炭素型社会の構築
- 6 有害鳥獣被害対策
- 7 将来を担う心豊かな京田辺っ子が育つ京田辺の推進
- 8 障がい児保育の充実
- 9 シルバー人材センターの運営



天理山古墳群

- 10 学校教育環境の整備充実
- 11 安全な通学路対策
- 12 学校給食施設整備と地産地消・食育の推進
- 13 市内農業の成長産業化
- 14 農業基盤整備事業の実施に係る支援の強化
- 15 市内都市計画道路(山手幹線、大住草内線等)の整備改善
- 16 田辺中央北地区の新市街地整備促進
- 17 総合的な交通政策の推進
- 18 安定した公営企業経営



田辺排水機場、新西浜樋門



給食センター

京田辺市の将来を見通した政策提言



安全・安心 安全で心安らぐ優しいまち

- ・国土強靱化計画の推進
- ・流域治水推進による治水対策
- ・ため池及び天井川の防災対策
- ・消防力の強化
- ・自転車利用促進



尼ヶ池

大住三野付近



健康 いきいき健康で明るいまち

- ・障がい者が地域で安心して暮らせるための支援充実
- ・ヤングケアラー支援の充実
- ・高齢者の社会参加の推進
- ・ひきこもり支援の取り組み充実
- ・市民の健康増進の取り組み充実
- ・すべての人に優しいバリアフリー施策の推進



田園都市 活力に満ちた便利で快適なまち

- ・社会資本の整備充実による経済効果発現を見逃さない都市経営
- ・地域の安全・安心を支える建設業の育成
- ・狭あい道路の整備促進
- ・産業振興施策の推進
- ・大学のあるまち京田辺らしさの施策推進
- ・史上最悪レベルといわれるクマ被害対策、情報収集の強化



緊急車も通れない狭隘道路



緑 緑に包まれた美しいまち

- ・都市の品格形成
- ・田辺公園における農福連携の推進
- ・循環型社会形成の推進
- ・環境施策の推進
- ・森林の荒廃化防止
- ・農地転用後の土地利用の適正化



緑に囲まれた打田地区



田辺公園拡張整備



文化・教育 子育てしやすく未来を育む文化薫るまち

- ・時代に対応できる子どもへの教育の充実
- ・抜本的かつ総合的な子育て支援
- ・少子化対策の推進
- ・いじめ、不登校児童生徒の対応
- ・スポーツを生かしたまちづくりの推進
- ・ワールドマスターズゲームズ2027関西に向けて
- ・施設利用料の公平公正化



ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ



市民協働・行財政運営 まちづくりプラン推進

- ・行政改革実行計画の断行
- ・副市長二人制の導入
- ・組織改革とやる気のある職員配置と働く職場環境の充実
- ・国際感覚の醸成
- ・ふるさと納税の取り組み促進
- ・協働によるまちづくり体制の促進
- ・債権管理条例などによる公平公正な債権管理体制の充実

同志社前駅周辺地域



新名神高速道路

会派研修報告

複合型施設2ヶ所の視察研修を行いました

令和7年2月4日 愛知県大府市役所・「おおぶ文化交流の社」

図書館や文化ホールなどを備えた複合型施設

議員からの主な質問

Q 設立の基本的理念や考え方は？

A 誰もが知識や情報を得て、質の高い文化・芸術に触れ、また自ら創造・表現活動を行い、交流を図ることで、「市民力」の向上に寄与する施設。「おおぶ文化交流の杜～ネクスト・ステージ」への架け橋。

Q 具体的な事業手法は？

A コスト算出による定量評価と、PFI事業として実施することによる定性的評価を合わせて総合評価を行った結果、「PFI手法(BTO方式)」とした。

Q 年度別の来館者数は？

A 令和2年度 346,537人→ 令和5年度 431,751人と来館者数は高い水準で推移



令和6年2月5日 愛知県安城市歴史博物館・「アンフォーレ」

図書情報館やホールがある本館、イベント等が行える広場や公園がある公共施設、民間経営による駐車場や商業施設がある中心市街地拠点施設

議員からの主な質問

Q 管理体制は？

A 南館と駐車場は民間運営、本館はPFI事業者が管理。図書情報館は安城市が直営。

Q PFI事業者の経営状況は？

A 特に問題はない。

Q 事前に議論・企画しておけばよかった点は？

A 複数の主体が関わるため、連絡調整が重要。施設修繕の役割分担を明確にする必要がある。

Q 図書館の民間委託について考慮したか？

A 指定管理者の議論があったが、当時の市長が民間だと温かみがないと感じ直営とした経緯がある。

